

16 工事関係者等による火災

【関連章第6章2】

事例2 「新築工事中に使用した接着剤の可燃性蒸気に引火し出火した火災」

出火時分 6月 9時ごろ

用途等 新築工事中建物

被害状況 建物部分焼1棟 陸屋根 3㎡等焼損

概要

この火災は、新築工事中の建物の5階陸屋根3㎡等が焼損したものです。

出火原因は、作業員がブタンガストーチバーナで陸屋根の水溜まりを乾燥させようとしたところ、近くで別の作業員が防水シートを貼るための接着剤を塗布していたため、陸屋根に滞留した接着剤の可燃性蒸気に引火し出火したものです。

防水シートを貼るために接着剤を塗布していた作業員は、作業中に自分の方へ炎が走るように向かってくるのを発見したため、陸屋根部分から建物内に入り、置いてあったヘルメットに水道の水を汲み初期消火を実施しています。出火建物の近隣建物に住む居住者は、外から叫び声が聞こえたため、外を確認すると、火が見えたため、携帯電話で119番通報しています。

教訓等

この火災は、引火性溶剤である接着剤を使用する際にすぐ近くでブタンガストーチバーナを使用したため出火しています。使用していた接着剤には「火気厳禁」と注意書きが記載されていましたが、守られていませんでした。

工事を開始する前には、作業内容はもちろん、使用する火気や危険物の有無などの情報を共有し、出火防止、事故防止に努めましょう。



写真 16-3 焼損した陸屋根の状況



写真 16-4 使用していた接着剤の状況